

10.
2021

令和3年10月



—まほろばだより—
MAHOROBA
DAYORI

「コロナ禍を通して聞こえる天の声」

社会福祉法人まほろば 理事長 飯降 政彦

東京オリンピック・パラリンピックは、スポーツの素晴らしさを改めて我々に教えてくれるとともに、感動と勇気そして生きる力を鼓舞してくれました。

かつて57年前の東京オリンピックは、敗戦国日本の平和的復活を印象付けたスポーツ祭典でした。今回は新型コロナウイルスのパンデミックの最中で行われましたが、これによる直接的な影響はなく、万事うまく事が運ばれた五輪・パラリンピックでした。これに対して関係の方々、選手の皆さん、サポートする人々や応援の皆さんにも心からの敬意を表するのは私一人ではないでしょう。

ところで、相変わらずのコロナウイルス感染状況が続き、コロナ・コロナで明け暮れておりますが、これが2年間続き、専門家もいつ終息するか分からない、まして政治家も誰も分からない。神様に聞けば、一体どんな答えが返ってくるのか。多分「それはお前たち人間の心次第」という答えでしょう。

この状況が2年続いていますから、人々は一面では慣れてきた。そしてじっとしてはいられなくなる。我慢の籬(たが)が外れてきてしまっている状況になってきているのでしょうか。そこを巧みに突いてくるのが今回のコロナウイルスであります。まるで、このウイル

ス自体に意思・意図があるような感じすらするのであります。

人間は元来、群れ、集まることにより、元気づけ高め合って、前に向かうのが習性の一つでありましょう。喜び、悲しみ、苦しみを分かち合うという人間の習性がコロナウイルスの付け所となっています。姿、形を変えて迫ってくるコロナウイルスであります。然しワクチン接種も進み、治療薬や治療方法も一層進展し、いつかは終息の日を迎えることでしょう。

人類が、世界中の人々の幸福を思い、願うものならば、このコロナウイルスを通して聞こえてくる天の声、教訓の元は、やはり、当たり前ことに感謝する心、人間お互いのたすけあう心、そして己を抑制する慎みの心、この3つの心を持つということであると信じます。

回想録

～素晴らしい人達との出会い～

靴のヒラキさんとの出会い



社会福祉法人まほろば
常務理事 門口 守子

「まほろば」が今日ここまで来れたのは、多くの方々にご支援をいただいたお蔭に他なりません。その中でもヒラキ株式会社様は、法人設立前から支えてくださった大恩人です。今回はヒラキさんとの出会いについて回想したいと思います。

法人設立準備のために障がいのある人達の仕事としてパン作りを始めました。私の長女が当時のアルバイト先のパン屋さんで覚えたパン作りがきっかけでした。三木市内に使われていないパン工場が見つかり、その場所をお借りして本格的なパン作りをスタートさせました。長女と教会（天理教光司分教会）メンバーがパン作りに励み、何とか売り物にできるような商品が出来上がってきました。しかし、肝心の決まった販売先がありませんでした。その為、長男・次男がワゴン車にパンを積み込み、音楽を流しながら住宅街を訪ね回りました。しかし、この販売方法ではチリ紙交換と間違われる事もあり、順風満帆とは言い難い状況でした。（この販売の形が、現在の移動販売車として受け継がれており、当時と変わらぬ『にんげんっていいな』の曲とともに地域の方々に愛されているのはうれしい限りです。）

まともな販路も持たず困り果てていたとき、長女が「靴のヒラキ（岩岡店）さんには食べ物を置いてないから、パン箱一つ分だけでも置かせてもらえないか。」と発案し、最初はこれといった紹介もなく、ヒラキさんの窓口へ直接お願いに行きましたが、断られました。諦めきれなかった私は、障がい者の仕事の現状を把握している職安の担当者であれば、ヒラキさんの上層部の方とお話しする機会を設けて下さるのではないかと思いお願いした所、快諾頂きました。そこで紹介されたのが当時人事を担当していた常務取締役の鈴木裕子さんでした。

私は障がい者の現状の説明と今後の展望として、障がいのある方々が誇りを持てる仕事を提供し、人様に喜んで頂き、本人も仕事を通じて喜びと自信をもって自立できる道を何とか作ってあげたいという思いを鈴木さんにお伝えさせて頂きました。鈴木さんは「私自身はたすけてあげたいと思っています。これから社長にお願いをしてみますが、前例もないので九分九厘無理だと思います。期待はなさらないでください。」との回答でした。

後日、鈴木さんから、社長様が「あんた(鈴木さん)は、(まほろばへの売場提供を)させてあげたいのだろう。だったらお世話するのであれば、地代は貰わずに徹底的に面倒を見てあげなさい。」と仰ってくださったとのお返事をいただきました。私はこの平木社長様、鈴木常務様は、これからの福祉に対しての企業の在り方の見本を作ってくくださったのだと思っています。

昭和61年からヒラキさんの店舗入り口の一番近く、最も目につく一等地ともいえる場所を無償で提供していただき、そこにテントの売場を設置してパンの販売をさせていただくことになりました。ヒラキの従業員さんも何かにつけご配慮くださり、パンが焼き上がってお店に到着すると「まほろばの焼き立てパンが到着しました。」と館内放送でご案内くださるおかげで、毎回行列が出来、新聞やテレビで報道していただくこともありました。ヒラキさんの店舗入口が何度か変更された際に、お客さんの流れが変わり売り上げの落ちたときもありましたが、その都度、一番お客さんの目に付くいい場所を手配してくださるなど、幾度となく、ヒラキ様全体でまほろばのことを応援してくださいました。

こうしてヒラキさんが支えてくださったお陰で、まほろばは、他の施設ではできないようなことをさせていただくことができました。あっという間に歳月が過ぎ、「いつまでもヒラキさんに甘えているわけにはいかない」と、これまで25年間無償でお借りしていた売場を、やっとお返しさせていただくことができました。それでも、こうして歳月が経った今なお、現社長様を初め、ヒラキ様全体でいつもまほろばを心配して下さり、色々とお声がけを頂いております。私はこうして代替わりしても、先代の想いを引き継ぎ続けるヒラキさんに尊敬の念を抱かずにはられません。

神戸新聞掲載記事

(昭和61年4月15日)

(まほろば最初の売場)



テレビ報道時の写真



ヒラキ内移動後のまほろば店舗

自閉症ってどんなもの??

三木光司園ではTEACCH（ティーチ）プログラムをもとにした自閉症に特化した支援に取り組み、今年で16年目になりました。利用者が混乱なく安心して生活・作業・活動が出来るよう努めています。さて、光司園では自閉症への取り組みでどんなことをしているのか、なぜそうしているのか、などについてご紹介していきたいと思います。

そもそも、自閉症とは??

～『自閉症』の特性～

たとえばこんな事が苦手な人もいます。

★想像力の特性

⇒繰り返しの行動、想像力の偏りや弱さ、先を想像するのが苦手

★コミュニケーションの特性

⇒言葉の使い方が独特、使うのが苦手

★社会性の特性

⇒孤立したり受け身（断れない・指示待ち）になったり、

その逆もある

◇光司園で実際の支援に一番不可欠なものはズバリ、『視覚構造化』です

自閉的な特性のある方は視覚優位な事が多いため、耳で聞いて得る情報よりも、目で見て得る情報の方が認識しやすいことから一番必要な支援となります。当たり前ですが、耳で聞くだけでは忘れてしまったり、何度も聞かなければならず（そもそもコミュニケーションが苦手）、ストレスが溜まります。一方、目で見るなら自分の確認したい時にいつでも自分のペースで確認ができるので、ストレスが溜まりません。また、自立的に行動しやすくなります。

今回は一日の予定となる「スケジュール」の役割をご紹介します。

自分で動くために作られたAさんのスケジュールの工夫

朝登園してから上靴を履き替え、その後どうしたらいいか、分かっているけど動けない（指示待ち＝声掛けがないと自分から動けなくなる）



②カードは文字とイラスト、文字のみ、写真、現物など本人が理解するものを使っている。



①下駄箱の扉に小さなポケットを作り、記名されたカードを入れておく。そのカードを持ってカードを入れる場所（トランジションエリア）へ自分で移動し、そこで今日の予定（スケジュール）の確認ができる。左の時間（時計やタイマーで）に合わせて動く、というシステム。



③「トイレ」「きがえ」「ごはん」それぞれの行動に合わせたカードをいくつか用意し、カードを持つタイミング、貼る場所など、目的の為の導線を作って支援しています。



少し機械的だと思うかもしれませんが、先の見通しを立ててスケジュールを作って支援することによって安心して過ごすことができます。最終的には、スケジュールも職員と一緒に考えたり、自分で選んでいけるよう、より自由度の高いもので支援できるようにするのが私たち支援員の目標です。

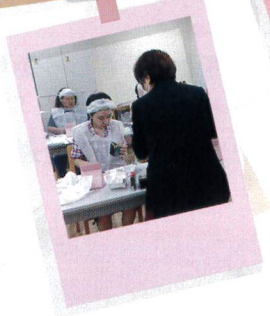
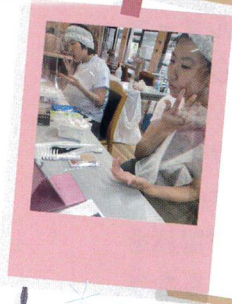
光
MIKI
KOUJEN

母
MOYA

美容講習
-Beauty-

ワタシを美しく♪

SHISEIDO



昨年から続くコロナ禍で、皆さんが楽しみにしている行事が軒並み中止になってしまいう中、2年ぶりに美容講習が実施されました！

美容講習はこれまで夏と冬の年2回、実施されてきましたが、コロナの影響を受けてずっと中止されてきました。

今回、緊急事態宣言が解除されたタイミング（7月）で、資生堂様よりお声が掛かり、室内の換気・手指の消毒・マスクの着用・パーテーションによる飛沫防止等、感染防止対策を行った上で実施されました。初めての方も、メイクのベテランの方も、アイシャドウやリップを塗る時は皆さん表情がとてもよく、キラキラしていました。普段のスキンケアの仕方やヘアスタイルの整え方など、単なるオシャレだけではなく、身だしなみを整える方法も教えて頂き、一つ大人の女性にグレードアップした講習となりました。資生堂の皆様、ありがとうございました！！

光
MIKI
KOUJEN

収穫
-Harvest-

暑さに負けない！
楽しく収穫！



サンサンと照り付ける夏の日、古神にある畑では夏野菜の収穫がほとんど毎日のようにされています。

登園してすぐに自分の作業予定を確認し、畑で収穫と分かると早速みなさん準備にかかります。保冷剤を入れたネッククーラー、涼しい風が流れるファンジャケット、日よけの帽子と汚れても平気なズボン、そして長靴。手袋をつけたら準備完了！！

作業前に経口補水液を飲み、大きく育ったトマトやキュウリ、ナスやオクラなど慣れた手つきで次々と収穫していきます。役割を分担してみんなで協力して進めていきます。途中休憩を取って水分補給も忘れません。

収穫した野菜は袋に詰めて光司園玄関で販売したり、店舗へと出荷されます。かわいいイラストつきのラベルも貼って出荷されていく様子を見て、その一つ一つに利用者の手が加わっていると思うと、嬉しい限りです。保護者の方からも好評で、お迎えにいらした際にお買い上げ頂いております。

母

MOYA

ウ

WELFARE
MAHOROBA

和

NAGOMI

ホ

HOME
MAHOROBA

令和3年4月7日

古神グラウンドで レクリエーション

新型コロナ感染予防のため恒例だった旅行やボーリング大会等、イベントの中止が続くなか、昨年好評だった古神グラウンドでのレクリエーションを行いました。久しぶりの余暇活動に皆さん数日前からウキウキです。今回は利用者さん・職員（ウェルフェアまほろば・母屋・和・ホームまほろば）、地域の方を合わせて、なんと150名程の参加になりました。お昼ご飯にはちょっぴり豪華なお弁当とソフトクリームを用意し、スポーツの種類も昨年より充実させました。ソフトボール・バドミントン・サイクリング・縄跳び・卓球・ボール遊び、運動が苦手なメンバーさんは室内でボードゲームを行いました。室内は他にもトレーニングルームもあり、トレーニング器具を使い汗を流すメンバーさんも！またグラウンド周辺の散策や竹林で筍を掘ってきたチームもあり、皆さんキラキラした笑顔で楽しんでおられました。

もちろんマスクの着用・手指の消毒といった感染対策もしっかり取り組み、中にはマスク型に日焼けをしている利用者さんもいらっしゃいました（笑）。「楽しかった！」「またしたいですね！」等の感想も多数いただき、みんなで充実した時間を過ごす事が出来ました。

トレーニングルーム！



ボードゲーム！



バレーボール



サイクリング



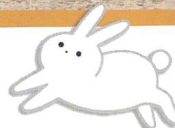
たけのこ掘り



ソフトボール



大縄跳び！





永年勤続(10年)

～表彰者～

ウェルフェアーまほろば
従業員



水池恵さん

- A1. YouTubeを観て過ごしています。最近はスターリーを観ています。
- A2. 特にないです。
- A3. ラスク作業で入職しましたが、令和2年度からパン部署に異動しました。私は今の仕事の方が合っているようで、今まで以上に楽しく仕事が出来ています。

- Q1 休みの日の過ごし方は？
- Q2 仕事の中で一番の思い出は？
- Q3 何かひとこと

ウェルフェアーまほろば
従業員



藤井きよみさん

- A1. コロナもあり、外出は極力控えるようにしています。その中で外出と言えば、娘の所へ行き孫と遊ぶことでしょうか。女の子でおしゃまさんなので、ササッとスマホ操作したり…ついていけない所も多くあります。
- A2. まほろばの事は正直知りませんでした。ここに入って、日々教えられることが多くあり、この職場に来たことに感謝しています。
- A3. ハローワークで希望条件をお伝えしたところ、まほろばを紹介してくださいました。職場の方が心よく面接してくださり、温かく迎えて頂きました。あっという間の10年ですが、まほろばに来て良かったと日々感じています。

ウェルフェアーまほろば
従業員



竹内竜二さん

- A1. 仕事が休みの時はゲームをしたり、釣上啓行さんがされているまほろばの外作業を手伝っています。
- A2. 特にないです。
- A3. 10年間、毎日が楽しくあっという間でした!

ウェルフェアーまほろば
従業員



伊藤裕樹さん

- A1. 今はどこにも行けないので、ゲームをして過ごしています。
- A2. アメリカへ行ったことです。(サクラメントにある、まほろばベーカリーでパンの製造をしました)
- A3. 長いようで短い10年間だ! 長かったし短かった!!

三木光司園 調理補助
平桂子さん



- A1. 掃除をしたり携帯ゲームをしたりして過ごしています。ゲームは中でもパズドラにハマっています。
- A2. まほろばカーニバル 毎年、食材運びなどをしてバタバタで、あっという間に終わるので印象に残っています。
- A3. 色々大変だけど、今後とも頑張ります!!

母屋 支援員
清水麻衣さん



- A1. コロナ禍前 カフェ巡り 旅行
コロナ禍中 NETFLIX三味 阪神タイガースの応援
- A2. 年1回の旅行の時のバイキングで利用者さんがいっぱい食べているのが印象的でした。
- A3. 職員の方もメンバーさんも優しいので10年も続いたんだと思います。ありがとうございます。

ウェルフェアーまほろば
事務員



野村恵子さん

- A1. 今は1日家で過ごしていることが多いですが、以前はお友達と食事をしてお喋りすることが多かったです。
- A2. 利用者の方や普段なかなかお会いすることが無い方と日帰り旅行で京都や体験型博物館に行ったこと。
- A3. 温かい方々ばかりの恵まれた環境で過ごすことが出来、あっという間でした。

母屋 支援員
門口佳代さん



- A1. 読書 特に有川浩さんの作品が好きです!
- A2. まほろばカーニバル 普段見ることがないので、お茶室での利用者さんのお手前を見て毎度感動を覚えています。
- A3. 10年まほろばで勤めさせていただき、色々な方に教えて貰い、育てて頂きました。誠にありがとうございます。今後とも精進していきたいと思っております。

法人からの お知らせ

【令和2年度 事業報告】

1. 理事会・評議員会開催

新型コロナウイルス感染拡大防止の観点からオンライン開催や決議の省略により決議が行われました。

| 理事会 | 開催・決議日 |
|--------------------------|-----------|
| 令和2年度第1回理事会開催 | 令和2年6月3日 |
| 令和2年度第2回理事会 (決議の省略) | 令和2年9月10日 |
| 令和2年度第3回理事会 (オンライン開催) | 令和2年12月4日 |
| 令和2年度第4回理事会 (オンライン開催) | 令和3年3月17日 |

| 評議員会 | 開催・決議日 |
|-------------------------|------------|
| 定時評議員会 (決議の省略) | 令和2年6月18日 |
| 令和2年度第2回評議員会 (決議の省略) | 令和2年10月4日 |
| 令和2年度第3回評議員会 (決議の省略) | 令和2年12月15日 |
| 令和2年度第4回評議員会 (決議の省略) | 令和3年3月26日 |

2. 監事監査の実施 日時：令和2年5月27日 監事：百合岡靖裕、加藤成久

監査内容：令和元年度理事の職務執行状況及び法人財産の状況 改善すべき事項： 特になし

3. 評議員選任・解任委員会 令和2年9月18日開催 新評議員に紺谷宏志氏を選任

4. 施設整備

①ホームまほろば 令和2年度神戸市グループホーム整備補助金を活用し、よろこび寮の建物老朽化改修工事を実施

②母屋 エネルギー使用合理化等事業者支援事業補助金を活用し、空調機器交換の一部費用に活用

③三木光司園 神戸やまぶき財団様より社会福祉助成金をいただき、さつまいも掘り機を購入
清水基金様より助成金をいただき、椎茸乾燥庫を購入

5. 令和2年度表彰 令和2年12月4日法人本部において表彰式執行 永年勤続・協力表彰 (10年勤続) 11名 ウェルフェアまほろば職員5名、母屋職員4名、三木光司園職員1名、ホームにっこり職員1名

6. 職員の任免 令和2年度 【採用者】：正規職員1名、パート職員16名

【退職者】：正規職員1名、準職員2名、パート職員3名

7. 苦情対応：苦情受付窓口設置、苦情解決委員会開催 (第1回：令和2年10月30日 第2回：令和3年3月25日) 社会福祉法人まほろば第三者委員： 高田珠美、 藤本みえ子

8. 地域における公益的な取組

- ①地域交流イベントの開催 まほろばカーニバル及び感謝祭 令和2年度は新型コロナ感染防止のため中止
- ②福祉サービスに係る利用者負担の軽減 就労継続支援A型利用者負担免除
- ③地域の方々へ健康づくりの場を開放 認知症予防や健康の保持増進のための運動の機会や憩いの場を提供
- ④青少年育成支援 地域の少年野球チームなどにグラウンドを無償貸出し
- ⑤青少年更生支援 補導委託制度に基づき少年の更生訓練のための就労の機会を提供

【社会福祉法人まほろば役員紹介】 法人ホームページにおいて公表しております。

【ご寄附報告】 西村茂子様より11種の桜の苗木を48本いただきました。この苗木は、法人が3年前に取得し散策道を整備中の金棒池の畔に植樹させていただく予定です。数年後にはお花見ができるといいですね。楽しみです！

【寄附のお願い】 利用者（障がい者）の一層のサービス向上及び社会福祉事業の発展に資するため、皆様のご寄附をお願い申し上げます。



●ご連絡は郵便、電話、FAXでお寄せ下さい

〒673-0434

社会福祉法人まほろば

住所：三木市別所町小林字仕負谷118番地111

電話：0794-82-9457

FAX：0794-82-3784

担当：広報係迄

ホームページ：http://www.mahoroba.or.jp

QRコード

